

大会決議

道路は、切迫する巨大地震や、激甚化・頻発化する豪雨災害など、脅威が高まる大規模自然災害への迅速な対応や、経済・産業の発展に欠くことのできない「非常に重要な社会基盤」である。

現在、徳島県内では、「徳島南部自動車道」や「阿南安芸自動車道」の整備、「徳島自動車道」の4車線化等が進められている一方、未事業化区間や暫定2車線区間が未だ多く残されている。

先月、徳島自動車道において、正面衝突事故が発生し、対面通行区間の課題が改めて浮き彫りとなった。また、都市部の慢性的な渋滞や、老朽化施設の増加、交通安全の確保といった全国共通の課題への対応も求められる。

こうした状況を乗り越え、将来に希望を持てるよう、一刻も早く全国の地域間格差を解消し、「地方創生」を成し遂げることが我々の使命であり、それを果たすには、「国土強靱化」や、人口減少下にあるからこそその「生産性向上」が必要不可欠である。

そこで、その手段となる「県内道路」の整備を強力に進めていくため、次の事項について、特段の配慮がなされるよう強く要望する。

- ― 頻発する災害や物価高騰を踏まえ、道路整備に必要な予算・財源の確実な確保
- ― 「第1次国土強靱化実施中期計画」について、必要な予算・財源を通常予算とは別枠での確保
- ― 徳島南部自動車道について、
 - ・「徳島津田・阿南間」の早期全線供用
 - ・難工事が多く時間を要する「徳島津田・小松島間」の整備推進
- ― 阿南安芸自動車道について、
 - ・「美波・牟岐間」の計画段階評価の早期完了
 - ・「牟岐・海部間」の早期事業化
 - ・「桑野道路」、「福井道路」、「海部野根道路」の整備推進
- ― 徳島自動車道について、
 - ・「藍住・川之江東JCT間」の全線4車線化の早期完成
 - ・4車線化完成までの間の緊急安全対策の実施
 - ・「阿波市場スマートIC」の早期供用
- ― 徳島南環状道路（国府・上八万間）の整備加速、開通見通しの早期公表
- ― 地域経済の活性化に資するIC関連整備、強靱化、老朽化対策、交通安全対策など、県や市町村が実施する道路整備に必要な予算の確保
- ― 四国地方整備局において、必要な人員の確保、県南部への事務所の新設や出張所の格上げ等による組織体制の強化

令和7年8月22日

徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道・徳島自動車道等整備促進決起大会